

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 旭化成ケミカルズ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒712-8633 岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
本票作成	部署名： 水島製造所 環境安全部 環境グループ				
主たる業種	分類コード	16	業種名： 化学工業		
事業の概要	石油化学系基礎製品製造業・プラスチック製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	旭化成ケミカルズ株式会社【B地区】		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	②	(以下を含む)			
	③	旭化成エポキシ株式会社 水島工場		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	④	P S ジャパン株式会社 水島工場		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	⑤	旭化成ケミカルズ株式会社【C地区】		岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-11	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25 )年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	2,034,608 t CO <sub>2</sub>	1,371,076 t CO <sub>2</sub>	1,600,000 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25 )年度排出量
	①	旭化成ケミカルズ株式会社【B地区】	1,371,076 t CO <sub>2</sub>
	②	(以下を含む)	t CO <sub>2</sub>
	③	旭化成エポキシ株式会社 水島工場	t CO <sub>2</sub>
	④	P S ジャパン株式会社 水島工場	t CO <sub>2</sub>
	⑤	旭化成ケミカルズ株式会社【C地区】	t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 ( 5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 25 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	32.6 %	21.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 25 )年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

水島構造改善における第1ステップを完了(2012年度)後、安定して計画の効果を維持できている。

【推進体制】

<p>＜本社推進体制＞                  持株会社社長――地球環境対策推進委員会――地球環境対策実行委員会、および LCA 専門委員会                  （各委員会の役割）                  地球環境対策推進委員会：グループ全体の地球環境対策を審議・決定                  地球環境対策実行委員会：地球環境対策推進委員会の決定事項に対し、具体的な活動を展開                  LCA 専門委員会：グループへの LCA の普及、グループ製品および研究開発中の製品の LCA 評価を実施</p>
---

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島製造所	<p>(2013年度実施分)</p> <p>(1) 水島構造改善後の安定したコンビナートバランス運転を実施。                  ・2012年度 アンモニア、ベンゼン生産停止後の安定したコンビナートバランス</p> <p>(2) 石化事業基盤強化に向けたの具体化の検討                  ・近隣企業と連携したエチレン生産の効率化（1期化）等</p> <p>(今後実施予定分)                  ・2016年度を目標に、石化事業基盤強化を進めていく。</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	「倉敷美しい森」の森林保全活動へボランティア参加（植樹・下草狩り）
その他	有	・宮崎県における「あさひの森」での植林活動 ・静岡県における「あさひ・いのちの森」での自然再生活動

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	有	・宮崎県延岡支社では、水力発電およびバイオマス発電の継続 ・その他の地区での太陽光発電の導入等

【その他特記事項】

<p>＜水島エコ活動重点実施項目＞</p> <p>1) 事務所照明 昼休みの不要時消灯、利用時の照明削減（エリア別消灯）                  2) 御手洗い照明 不要時の消灯                  3) パソコン節電対策の実施                  4) エアコンの設定温度管理                  5) 複合機、コピー機の原則両面印刷の徹底</p> <p>＜排出量の算出について＞</p> <p>1) エネルギー起源 : 省エネ法報告値（中電クレジット補正前）を使用                  2) その他 : 生産活動に伴う排出量を算出して使用                  3) 排出量の外数 : 実績報告の外数として、石油タールピッチ由来の二酸化炭素【対象区分に該当せず】の排出が、213,631 t-CO<sub>2</sub>がある。</p>
---